

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自転車を活用した諏訪の地域づくり
事業主体 (連絡先)	諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会
事業区分	(2) ②イ 諏訪湖を活かしたまちづくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,806,097 円 (うち支援金 : 2,174,000 円)

事業内容

- A) サイクルスタンドの設置
 自転車を活用できる環境の整備を目指して、サイクルスタンドを諏訪湖周を中心に 30 か所設置した。
- B) サイクリングガイドの養成
 自転車の活用により、地域住民が地域の魅力を再発見することを目的として、地域住民によるサイクリングガイドを 15 名養成した。
- C) e-bike を活用したサイクルツーリズムの推進
 近年、注目されている e-bike を推進するため、旅行商品造成に向けた観光モニターツアーと体験イベントを開催した。



【e-bike モニターツアーでの立石公園からの諏訪湖の眺め】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① サイクルスタンドの設置やサイクリングガイドの養成により、自転車の受入に対する環境の整備が進んだ。
- ② 諏訪地域の大きな魅力である湖と山を楽しんでいただくための手段として、新たに e-bike という方法を一般住民や観光客へ提案したことにより、諏訪地域におけるサイクルツーリズムの推進が図れた。

- ① 自転車の受入環境の整備
- ② 地域住民による自転車を活用した魅力の再発見
- ③ e-bike を活用したサイクルツーリズムの推進

【目標・ねらい】

※自己評価【 A 】

【理由】
 サイクルスタンドの設置やサイクリングガイドの養成のほか、e-bike を活用した先進的な取り組みにより、自転車を活用した地域づくりが進んだ。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き、当初の目的であったサイクルスタンドの 100 台設置を進めていく。
 また、長野県全域でサイクルツーリズムを推進するため「JapanAlpsCycling プロジェクト」が立ち上がり、諏訪地域での取り組みが先進事例として注目されている。
 今後はこの取り組みを長野県全域に広げ、自転車の受入環境の整備により、自転車を核とした地域づくりを図っていきたい。